

2019年11月18日

「ロボット×レスキューフォーラム2019」のご案内

(一社)アール・アンド・アールコミュニティー
 代表理事 横小路 泰義
 レスキューロボットコンテスト実行委員会
 実行委員長 奥川 雅之

来る2019年12月7日(土)に「ロボット×レスキューフォーラム2019」を下記の要領で開催いたします。

レスキューロボットコンテスト実行委員会では、「技術を学び 人と語らい 災害に強い世の中をつくる」という理念の下に防災啓発活動を行っており、防災や災害対応の啓発と創造性教育の場の提供を目的として、「レスキューロボットコンテスト(レスコン)」を2000年から毎年実施しています。また、2015年1月にはこのレスコンをはじめとする事業を運営統括する団体として、(一社)アール・アンド・アールコミュニティーを設立しました。

本フォーラムは、この防災啓発活動の一環として、レスコンに興味をお持ちの方だけでなく、一般の方々も対象として、災害救助やロボットに関する話題を提供することを目的としています。本フォーラムは、計測自動制御学会システム・インテグレーション部門レスキュー工学部会との共催による「レスキュー工学シンポジウム2019」と「レスコンシンポジウム2019」との2部構成で開催いたします。皆さまお誘い合せの上ご参加ください。

なお、「第20回レスキューロボットコンテスト」として競技会神戸予選を2020年6月28日にデザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)にて、競技会仙台予選を7月5日にスリーエム仙台市科学館にて、競技会本選を8月9・10日に神戸サンボーホールにて開催を計画しています。本フォーラム後半の「レスコンシンポジウム2019」は、このコンテストの説明会を兼ねています。

記

日 時：2019年12月7日 土曜日 10:00～16:30 (受付 9:30～10:00/12:30～13:00)

場 所：神戸、東京同時開催 (同時中継開催)

◆神戸会場：バンドー神戸青少年科学館 地下ホール

〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-6 (<http://www.kobe-kagakukan.jp/>)

三宮駅よりポートライナーで13分、南公園 (IKEA 前) 駅下車 東へ徒歩3分

◆東京会場：東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス 本館7階 第1講義室

〒116-8523 東京都荒川区南千住8-17-1 (<https://www.metro-cit.ac.jp/>)

南千住駅東口下車、都営バス「上46系統」都立産業技術高専荒川キャンパス前下車徒歩1分

プログラム：別紙「ロボット×レスキューフォーラム2019 開催要項」参照

対 象：第20回レスコンに参加を検討しているチーム、消防関係者、一般等

主 催：(一社)アール・アンド・アールコミュニティー

協 力：バンドー神戸青少年科学館、東京都立産業技術高等専門学校

参加費：無料

参加資格：どなたでも参加していただくことができますが、必ず事前の申込をお願いいたします。

定 員：神戸会場:100名(申込順)、東京会場:50名(予定)(申込順)

参加申込：公式ウェブサイト(<https://www.rescue-robot-contest.org/>)の専用フォームにてお申込ください。

申込締切:12月5日(木) 17時

以上

ロボット×レスキューフォーラム 2019 開催要項

- ▼日 時：2019年12月7日 土曜日 10:00～16:30（受付 9:30～10:00／12:30～13:00）
- ▼場 所：神戸、東京同時開催（同時中継開催）
 - ◆神戸会場：バンドー神戸青少年科学館 地下ホール
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-6 (<http://www.kobe-kagakukan.jp/>)
三宮駅よりポートライナーで13分、南公園（IKEA前）駅下車 東へ徒歩3分
 - ◆東京会場：東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス 本館7階 第1講義室
〒116-8523 東京都荒川区南千住8-17-1 (<https://www.metro-cit.ac.jp/>)
南千住駅東口下車、都営バス「上46系統」都立産業技術高専荒川キャンパス前下車徒歩1分
- ▼定 員：神戸会場:100名（申込順）、東京会場:50名（予定）（申込順）
- ▼対 象：第20回レスコンに参加を検討しているチーム、消防関係者、一般等
- ▼主 催：（一社）アール・アンド・アールコミュニティー
- ▼協 力：バンドー神戸青少年科学館、東京都立産業技術高等専門学校

＜レスキュー工学シンポジウム 2019＞（主会場：東京会場、神戸会場は中継）

主 催：計測自動制御学会 システム・インテグレーション部門 レスキュー工学部会
プログラム：

- 10:00-11:00 「WRS インフラ・災害対応カテゴリー競技では何を競い、何を計るのか？」
大金 一二（新潟工科大学 准教授）
- 11:00-12:00 「DRC Finalsから学んだこととその後のHRP-5Pの開発について」
阪口 健（産業技術総合研究所 知能システム研究部門 主任研究員）

＜レスコンシンポジウム 2019＞（主会場：神戸会場、東京会場は中継）

主 催：レスキューロボットコンテスト実行委員会
プログラム：

- 13:00-13:05 あいさつ・主旨説明
奥川 雅之（愛知工業大学 教授／レスキューロボットコンテスト実行委員会 実行委員長）
- 13:05-13:30 「阪神淡路大震災を振り返って」
大坪 義一（近畿大学 准教授）
- 13:30-14:00 「過去の災害とレスキューロボットに期待すること」
柏原 剛（神戸市消防局警防課特別高度救助隊第1係 消防司令補）
- 14:00-14:10 （休憩）
- 14:10-14:40 「車両・資器材展示」
（神戸市消防局警防課特別高度救助隊第2係）
- 14:40-15:00 （休憩）
- 15:00-15:40 「第20回レスキューロボットコンテストについて」
レスキューロボットコンテスト実行委員会
- 15:40-16:00 質疑応答
- 16:00-16:25 レスキュー工学大賞受賞チーム講演とデモンストレーション
大工大エンジュニアチーム（大阪工業大学 モノラボロボットプロジェクト／
第19回レスキューロボットコンテスト レスキュー工学大賞受賞）
- 16:25-16:30 閉会あいさつ
鈴木 一哉（サンリツオートメイション（株） 代表取締役社長）